

本紙と:

新春

音

す。特にSSの現場で、性を改めて感じた。昨年を振り返り、合わせて今年の展望をお願いします。

日々感染防止を徹底して来ました。

ながらお客さまに対応されている、エッセンが先進、感染状況が落

日本はワクチン接種

本郷孝博社長（以下、シャルワーカーの皆さん）「着く一方で、海外に敬称略） 昨年はおよそ、まに頭が下がる思いで、感染がいまだに拡大しています。変異株オミクロンが、その三カ月ごとに新型です。」

コロナウィル感染の波が押し寄せてきました。第五波は感染者数も多く、コロナ禍が身近に迫ってきているという危機感もあります。コロナ禍の影響で営業を止めなければならぬことがないよう、また、コロナ禍で特約店の皆さまと想うようにお会いできず、誠にきません。今年こそは有効な薬剤とワクチンに歯がゆい思いです。コミュニケーションが円滑に役立てるべく、ポータルサイトを本年立ち上げ、研修会やリネーに、人々の暮らしと経済を切り結ぶべく、労務管理に力を入れ、新ノーマルを受け

に、一昨年に引き続いてさまざまな情報発信
て細心の注意を払ってに努めてまいりまし
事業を運営してきました。

た。幸いにして大きな問題には生じず、特約店および当社グループ皆さまにこの場をお借りして御礼申し上げます。話ができることの重

丸紅エネルギー社長

本郷 孝博氏



低炭素化への取り組みを進める

グループ力を結集

入れながらも正常化へ向かうことを期待しています。

昨年の資源高には、主に三つの要因があると思います。金融緩和による潤沢な投資マネー、ESG（環境・社会・企業統治）投資家が化石燃料に対する投資を抑制することを求める動き、アフターコロナの経済活動の正常化による需要増への期待です。金融正常化の動きやコロナ変異による先行き不透明感はあるますが、今回のオミクロン株が猛威を奮わなければ比較的堅調な資源価格は今年も続くと考えています。

——カーボンニュートラル（CN）への対応をお聞かせください。

本郷 CN に向けて
産学官でさまざまな取
組みが動き出しており、それに関するニュ
ースを見ない日はあり
ません。

水素やアンモニア、
合成燃料の E-Fue
ls といった CN は次
世代燃料の普及が期待
されていますが、大幅
なコスト削減と技術的
なブレイクスルーおよ
び

すきょう、安定供給を
担ってきたサプライチ
ェーン維持への投資が
困難になるという懸念
があります。業界が健
全に事業を継続しなが
ら脱炭素化に挑戦し、
次世代燃料供給の担い
手になるために、引き
続き適正なインセンを
確保できる事業環境が
必要と考えます。

当社としても、石油

一つと考えています。CN水素を大量に作るには、コストの観点から海外での開発に競争優位性があり、親会社丸紅は豪州でCCS（CO₂の回収・貯留）を組み合わせたクリーンな水素や、再生可能エネルギーから作るグリーン水素事業の実証試験や調査に取り組んでいます。水素、リユースを立ち上げました。昨年は特約店さま向けの情報発信と施策説明ツールとしてポータルサイトを立ち上げました。ユニフォームの刷新も行い機能性が高く好評と聞いています。引き続きマイカを結果として提案しサードパーティと連携していただきます。中古車の販売、音楽ポインツの導入などサポートや丸紅としての役割と重要視は変わらないと考えています。それぞれのリア特性などを考慮して、多様化する消費者の期待に応えていく方法を皆さまと共に考え、当社グループの力を結集して提案しサードパーティと連携していただきます。

プ力を結集

び大規模投資が必要であり、相応の時間がかかるものと思われる。

製品の流通面における安定供給が重要な社会的使命だと考え、当社のネットワークの維持

やフリスビーなどの暇する機会を増やし、よく開を丸紅と協議検討して活動を充実させていっています。中長期の取組になります。

——特約店にメッセージをお願いします。

本郷 新年あけましておめでとございまして。コロナ禍において日々の安定供給に尽力いたします。

ひろ氏 1982
年4月丸紅入社、
2008年4月サ
ハリン開発部長、
10年4月丸紅エネ
ルギー取締役社長
補佐常務執行役
員、12年4月丸紅
・エネルギー第一

業界として既存燃料強化を図るとともに、
の安定供給体制の維持
に取組みながら、低炭
素化に努め、バランス
よく脱炭素化を推進す
る必要があります。脱
炭素化は重要ですが、
また、中長期的に
は、次世代燃料の中で
水素は有望な選択肢の
一風当たりが強くなり

ださい。

本郷 特約店の書き 皆さまに改めて敬意を表するとともに、心から密にして、元売の施策や丸紅グループ独自の施策などの提案や導入サポートを活性化するために、昨年四月において地域に貢献するカーライフ事業推進部 サービスステーション

部門長補佐兼産業
エネルギー部長、
15年4月九州支社
長、18年4月丸紅
エネルギー取締役
専務執行役員21年
6月代表取締役社
長（現職）